



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

Nitobe College

新渡戸カレッジ

目指せ！北大発グローバルリーダー



TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN

Message

新渡戸カレッジ生を 目指す皆さんへの メッセージ

北海道大学総長
新渡戸カレッジ校長

名和 豊春



新渡戸カレッジは、豊かな人間性をはぐくむための学部横断的な特別教育プログラムです。本カレッジ名の由来である新渡戸稲造は、豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す「全人教育」の規範となる大先輩です。私たちの社会のグローバル化が急速に進行し、人や物や情報が瞬間に世界を駆け巡る現代において、「新渡戸稲造の精神」が重要性を増してきています。このカレッジを構想するにあたり、本学は新渡戸稲造の精神を三つにまとめました。それは、第一に「深い倫理性に基づいた品位ある自律的な個人の育成」、第二に「日本人としての自覚を持ちつつ、偏狭な排外主義に陥らない国際精神の涵養」、第三に「互いに国籍の区別を設けなくて親しく交わる国際的教育的組織」です。

新渡戸稲造は、本学の前身である札幌農学校の第2期生であり、また、教員として札幌農学校に11年間在籍しました。国際連盟事務次長を務めるなど近代日本きっての国際人であると同時に、「武士道」をはじめとする数多くの著作を発表した文筆家でもあります。この新渡戸稲造の活動のように、幅広い分野にわたって、高い精神性と異文化理解、コミュニケーション能力を身につけた人材を数多く輩出することが、総合大学としての本学の使命と考えています。このような理念のもとに、2013年4月、北海道大学は、新たな学士課程プログラムとして、「新渡戸カレッジ」を創設しました。

新渡戸カレッジの特色の一つは、大学が社会とともに皆さんに教育を提供し、研究するという本学が掲げる「実学を重視した研究・教育」の、新たな実践の場であるということです。この新渡戸カレッジの新たな挑戦を実現するために、すでに社会で活躍されている国際経験豊かな本学同窓生等に、カレッジ副校長やフェローとして協力いただき、新渡戸カレッジ生の学修やキャリア設計を支援して頂いております。これは、日本の大学でははじめての試みです。カレッジ生の皆さんは、フェローの方々の貴重な経験や知見を学び、積極的に活用されることを期待します。

新渡戸稲造は、21歳の時に「我、太平洋の架け橋たらん」という志をもって、その後の人生設計を構築していきました。皆さんも、この新渡戸カレッジとともに歩みながら、自らの「夢」を膨らませてください。北海道大学は、新渡戸カレッジで学ぶ皆さんの「夢」の実現に向けて、全力で応援します。

なお、「夢」の実現には、自らの努力が最も重要です。札幌農学校でグローバル人材が育った理由の一つに、札幌農学校の初代教頭のクラーク博士が「Be gentleman.」の一言を校則とし、学生の自律心、独立心を目覚めさせたことが挙げられます。「gentleman」の意味を自ら追求し、各々が各自の目標を設定し、それを誠実に実践して下さい。皆さんの奮闘を大いに期待します。



新渡戸稲造の銅像
(北大花木園)

新渡戸カレッジの特長

1

グローバル・リーダーを育成する2段階の教育プログラム

基礎プログラム(1年間)と
オナズプログラム(2年目から卒業までの)、
2段階によりプログラム全体を構成します。

基礎プログラム

目標≫リーダーシップ
の重要性と国際社会
の理解を促します

2年目以降 オナズ プログラム

オナズプログラム

目標≫グローバル社会
でリーダーとして活躍でき
る能力を養成します

1年目 基礎プログラム

2

自律的な個人の確立と専門能力を高める留学制度

新渡戸カレッジ生に対し、海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の
確立、論理的な思考力と高い専門性を身につけることを目的とした多様な留学プログラムを提
供します。また、各種奨学金制度により渡航費や留学中の生活費を支援します。

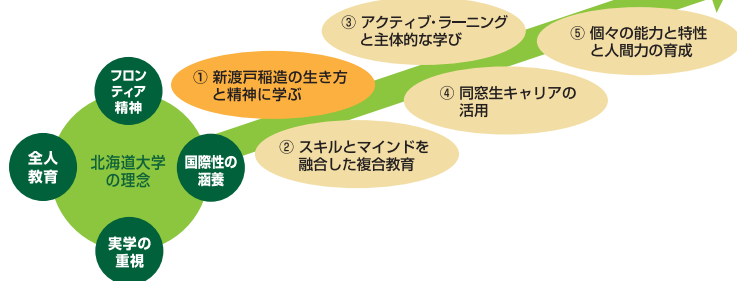
3

リーダーシップに必要なスキルとマインドを 育む独自のカリキュラム

「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」および「実学の
重視」という北海道大学の4つの基本理念に加え、新渡戸カレッジ
生の「リーダーシップ力」を涵養するために、次の5つの方針の教育
を行います。



グローバル・リーダー



4

国際経験の豊かな同窓生等からなるフェローによるキャリア支援

フェローとの出会いを通して、新渡戸カレッジ生は、人生の意味、大学で学ぶことの意義を考
え、自己省察する機会が得られます。社会経験、人生経験豊かなフェローと身近に接し対話す
ることで、カレッジ生は、視野を広げ、世界が直面する諸課題を身近なものとしてとらえる力を鍛
えると同時に、やる気を高め、将来の人生設計(キャリアデザイン)の検討への第一歩を踏み出
すことができるでしょう。

入校要件

新渡戸カレッジでは、2段階方式で入校生を決定します。

1

2019年度に北海道大学に入学又は2年次に進級した学部学生の中から、新渡戸カレッジ入校希望者を募集します。新渡戸カレッジ入校の志望理由書(400字程度)を審査し、仮入校生を決定します。

2

一定レベルの英語能力(TOEFL-iBT61点=TOEFL-ITP500点以上)を有し、1学期に全学教育科目総合科目特別講義「グローバル基礎科目(春ターム・夏ターム)」(合計2単位)の単位取得状況を総合して審査し、9月中旬に正式に入校生が決定します。

※日程、申込方法は新渡戸カレッジのウェブサイトでお知らせします。 <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

※TOEFL-ITPの詳細はTOEFLテストのウェブサイトをご覧ください。 <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

4月

仮入校

2019年度に入学した学部学生
新渡戸カレッジ入校の志望理由書を審査し選抜

9月

正式入校

一定レベルの英語能力(TOEFL-iBT61点=TOEFL-ITP500点以上相当)と
所定の単位及びポイントを取得

修了要件

基礎プログラムにおいて、所定の単位と新渡戸カレッジポイントを取得した者には「新渡戸カレッジ・アソシエイト」の称号を付与します。

基礎プログラムの必修科目

グローバル基礎科目

次の2つの授業から構成されます。

- ▶ 留学を、自分の目指す学びや研究を実現させるための手段として位置づけ、計画をたてる「**留学を考える**」
- ▶ リーダーのあり方や必要な資質などについてグループワークによる実践を通して考える「**リーダーシップを考える**」



留学支援英語

- ▶ 英語を母語とする講師による少人数クラスによる実践英語
- ▶ 英語によるコミュニケーション能力の向上
- ▶ 留学時に必要なアカデミックスキルの修得



新渡戸学(フェローゼミ)

- ▶ フェローの主導により現地視察の中から課題を発見しグループワークにより課題解決方法を探る演習
- ▶ 現地視察の例～札幌市中央卸売市場の見学



授業科目	単位	修了要件	修了に必要な単位数
留学支援英語	2	必修	2単位以上 (留学支援英語2単位は必修)
海外短期語学研修	2	選択	
国際交流科目	1又は2	選択	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1又は2	選択	
英語による学部専門科目	1又は2	選択	
グローバル基礎科目(リーダーシップを考える)	1	必修	3単位以上 (グローバル基礎科目、 新渡戸学(フェローゼミ) 合計3単位は必修)
グローバル基礎科目(留学を考える)	1	必修	
新渡戸学(フェローゼミ)	1	必修	
フィールド型演習	2	選択	
多文化交流科目	2	選択	
大学と社会	1	選択	
グローバル・キャリア・デザイン	2	選択	

海外留学

新渡戸カレッジの海外留学には長期留学プログラム(交換留学)と短期留学プログラムの2種類があります。新渡戸カレッジでは「海外留学」として、長期留学(交換留学)を奨励しています。ただし、所属する学部・学科カリキュラムの関係上長期留学が困難な場合においても、さまざまな短期留学プログラムを提供しています。また、北海道大学では各種奨学金制度を設けており、渡航費や留学中の生活費を支援します。

長期留学プログラム(交換留学)

短期留学
スペシャルプログラム

学部専門レベル
短期留学

国際
インターンシップ

● 長期留学プログラム(交換留学)

長期留学プログラム (交換留学)

交換留学は、北海道大学の交流協定大学(およそ50の国と地域、250あまりの大学等)に1年未満留学する制度です。留学先で取得した専門科目の単位が、所属部局が認める範囲内で設定されます。

● 短期留学プログラム

短期留学 スペシャルプログラム

海外の協定大学等において、英語で開講される授業や実習等を通して、より専門性の高い科目を学ぶプログラムです。

短期留学スペシャルプログラムの様子



アメリカ・オレゴン大学



カナダ・ブリティッシュコロンビア大学



スイス・ジュネーブ大学(WHOなど)

学部専門レベル 短期留学

学部等が独自に開発し、単位認定している短期留学プログラムです。詳細は、所属する学部等でお問い合わせください。

国際インターンシップ

海外における企業等での研修を通して総合的な人間力を培う実践的キャリア教育プログラムです。

対話プログラム

オナーズプログラムで学ぶカレッジ生は、フェローと一対一の面談を行うことができます。

- ▶ 学生が、フェローの国際感覚や経験に触れ、考える力・行動力・チームワーク力・人間性などを高めることを目的に、年数回実施します。



- ▶ 対話は、学生が将来や進路など自分が設定したテーマについて希望のフェローと話し、助言を受けてさらに考え、行動につなげるという形で進めます。



- ▶ 参加を通して、多様な考え方を学び、大学生活、進路、人生、自分自身などを新たな視点から捉えることができた、視野がひろがったなど、さまざまな効果が挙げられています。

※詳しくは新渡戸カレッジウェブサイト <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/dialogue/dialogue-voice> の「参加学生の声」をご覧ください。

修了要件

卒業時、新渡戸カレッジ科目11単位以上、TOEFL-iBT80点以上、成績上位50%以内の全てを満たした修了生には、英語と学部教育の成績により、以下の3段階の称号を付与します。

新渡戸カレッジ
Summa cum Laude
(= with highest honor)

TOEFL-iBT 100点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位15%以内

新渡戸カレッジ
Magna cum Laude
(= with great honor)

TOEFL-iBT 90点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位30%以内

新渡戸カレッジ
Cum Laude
(= with honor)

TOEFL-iBT 80点以上、所属学部学科等における通算GPA(成績)が上位50%以内

Students' Voice ▶▶▶▶▶

北大を目指すみなさん、 刺激的な体験と仲間が待っています



国際インターンシップ

農学部3年

松田 直輝さん

「海外で働いてみたい」という新渡戸カレッジ入校当初の想いから、国際インターンシップに申し込みました。企業理念や全部署ごとの仕事を学ぶことから始まり、現場に出向いた市場視察やイベントでの営業サポートを行いました。顧客への製品の宣伝やマーケティングを実践する場面では、専門知識を生かすことができず悔しい思いをしました。

社会で活躍するためには、自分の専門性を高めつつ総合的な知識や経験を積むことが必要であると感じました。



長期留学プログラム
(交換留学)

経済学部4年

岡崎 百花さん

普段は触れる事のない領域に挑戦しようと思いい、スウェーデン・ヨーテボリ大学と台湾・国立台湾大学へそれぞれ1学期ずつ交換留学しました。

IKEAのマネージャーの話や聞く・世界各国の学生と男女平等について議論する、台湾の歴史と博物館の関係を学ぶ…など、留学ならではの学びが多くありました。

グループ課題をこなしたり、寮で暮らしたりなど、彼らとの付き合いを通して様々な文化や考えを持つ人々と協力して物事を成し遂げるといった貴重な経験もできました。

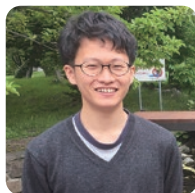
大変な面も多々ありましたが、それ以上に得られるものも多い留学生活でした。



寮の友人とのポットラックパーティ



ノーベル賞の
晩餐会が行われる
ストックホルム市庁舎



対話プログラム

水産学部4年

土橋 稜さん

函館から、バスで片道5時間かけて参加しに来ている理由は、それだけの価値があると感じているからです。フェローの方々は、私が話す日々の生活での悩みや将来に対する不安を、フェローの経験をもとにして一緒に考えてくださいます。フェローの大きな背中から見えてくるものはとても多く、も

チベーションの向上に繋がります。



フェローゼミ

教育学部2年

岡本 愛香さん

フェローゼミは一つのプロジェクトに主体的にかかわる「実践学習の場」という側面だけではなく、大切な「仲間」と出会う機会という側面を有しています。人により異なるかも知れませんが、メンバーと共に過ごす時間や関わっていくそのフェーズの深さは他のどの授業・プログラムと比べても敵

うものはありません。そこで得たのはプログラムされた学習ではなく、より自由で多様性にあふれ、わくわくするような学習であったと思います。



セルフキャリア発展ゼミ

工学部3年

高橋 遼さん

「創造力」。それは変化が目まぐるしい現代において特に必要とされる力です。その修得のため、この合宿では様々な分野で個性豊かな学生、フェローおよび教員と共に「価値」について徹底的に議論を重ねました。また、非日常の空間において他者と交流する中で自分を見つめ直し、将来の構想を

練る絶好の機会となりました。



新渡戸カレッジのフェロー制度

同窓生によるキャリア教育



北海道大学は「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」の4つの基本理念のもと、国内外の様々な分野においてパイオニアやリーダーなどとして活躍する人々を輩出してきました。

こうした同窓生等のなかから選ばれた人々が「**新渡戸カレッジフェロー**」となり、**新渡戸カレッジ生のキャリア教育に携わります。**

新渡戸カレッジ生は、フェローによるゼミ（「フェローゼミ」・「セルフキャリア発展ゼミ」）、講演会、メンタリングプログラム（「対話プログラム」）などさまざまなプログラムを通してフェローの知見と経験に触れ、グローバル社会で貢献できる人を目指して成長する上での糧とすることができます。

「ノブレス・オブリージュ」の道を進もう…



1972年法学部卒業
有限会社アールズセミナー代表取締役
元北海道副知事

佐々木 亮子 フェロー

北海道副知事の仕事は、知事を補佐しながら、行政組織として北海道全体をガバナンスすることが求められました。民間企業につとめていた時代とは境遇が一変し、何より自分自身が変わる必要がありました。当初は、戸惑いもありましたが、そうした環境の変化を受け入れ、道民や職員の声に耳を傾けながら、自ら積極的に適応することを心がけました。おかげで、新しい人々との出会いがあり、また視界が広がり、新たなフィールドの中でリーダーシップを発揮することができました。

その時、心の支えとしたのが、新渡戸稲造が『武士道』で語っている同じ意味の「ノブレス・オブリージュ」（役割を担う者はそれに応じた責任と義務がある）という言葉です。

皆さんには、書物やインターネットから情報を収集するだけでなく、「人の話をよく聞く」「相手の役に立つことをする」「自ら動く」の三点を意識して実践することをおすすめします。実体験を通してリーダーシップのセンスを磨けば、その先には「ノブレス・オブリージュ」の精神をもった自己を形成することができるでしょう。私は、フェローとして皆さんの伴走役をつとめながら、その成長を見守っていきたいと思います。

実体験に加え、フェローの経験も活用し、それぞれの夢の実現へ



1992年獣医学部卒業
中外製薬株式会社
プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニットプロジェクト推進部
グローバルプロジェクトリーダー

大友 俊彦 フェロー

新渡戸カレッジの話を知ってうかがった時に、自分が学生の時に同じようなプログラムがあったら、もっと広く興味を持ち、様々な経験できたのではと感じました。

と言うのも、私は学生時代に海外に視野を向けることは全くありませんでした。獣医になるという目標から、新しい医薬品を生み出すことに携わりたいと目標を変更し、製薬企業に入社して初めて、自分の夢を実現するためには、身近な周りのことだけでなく、世界中に目を向ける必要があることを知りました。

今は、私の学生時代と違って、様々な情報や、自分が知らないことも簡単に調べることができます。ただ、実際の経験でしか得られないことはたくさん存在します。特に失敗から学ぶべきこともたくさんあります。

新渡戸カレッジは、多様なプログラムを通じた実体験の機会が準備されています。さらに、フェローとの対話、交流を通じて、フェローの経験に触れ合うこともできます。グローバルで活躍する本質を、さも自らが経験したかのように感じることも可能であり、そこでは、失敗や苦労を通じた経験も知ることができます。新渡戸カレッジは社会の入り口となり、そこの経験がそれぞれの夢の実現につながっていくと思います。

北大「新渡戸カレッジ」とは

各学部での教育にプラスして、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラムです。

北海道大学12学部の全ての学生を対象とした横断的教育カリキュラムです。

学部教育



新渡戸
カレッジ

グローバル社会の
リーダーに必要な
スキルとマインド



グローバル社会で
活躍できるリーダーに!

お問い合わせ先

北海道大学

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学 学務部教育推進課 NITOBÉ 教育システム推進事務室 新渡戸カレッジオフィス担当

TEL 011-706-5414

Email nitobe-college@academic.hokudai.ac.jp

URL <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>